

| 春季特別企画 |

2013.3.23(土) - 5.12(日)

休館日 = 4/8、15、22、5/7

ネイチャーワンダーランド 2013

●みんなであそぶプログラム | 毎日実施 10:00-16:00 |

センターの中に身の回りがある自然を持ちこんで、あそびをとおして自然のさまざまな姿や様子を体験することに挑戦します。

●とあそぶツアー | 4月7日までの平日実施 14:00-14:30、15:00-15:30 |

みんなで一緒に自然を感じに出かけます。スタッフや参加者同士のやりとりも楽しみながら、新しい発見をしてください。

●あつまるあそぶプログラム | 土・日・祝日実施 14:00-14:30、15:00-15:30 |

家族や友だちだけでなく、たくさんの人と一緒に遊びます。
○土をもる ○風をおこす など

●たべるあそぶプログラム | 日曜日実施 11:00-12:00、14:00-15:00 |

自然を食べることそのものを楽しむプログラムです。

○詳しくは、館内の当日案内をご覧ください。プログラムは予告なく変更することがあります。



1999年からはじまり、今回で7回目となる自然をテーマにした「ネイチャー・ワンダーランド」。身の回りがあるけれども見過ごしがちな自然に、あそびやアート作品をきっかけにいつもとは違う角度から目を向けてきました。「自然は最高のあそび環境」だと考え、「自然の不思議をみつける」「自然とかかわる新しい回路を開く」「ジブンも自然の一部とを感じる」ことをずっとめざしてきました。「ネイチャー・ワンダーランド2013」でも、自然と遊ぶことにとことんこだわります。

強い風を受けてドキドキしたり

冷たい土をさわってワクワクしたり

明るい光に喜んだり

自然と遊ぶということは、わたしたちの五感や体、心を思い切り動かすということです。愛知県児童総合センターのなかで、どんな自然とどんなふうに遊べるのか、いろいろなあそびを試してみます。

ネイチャーワンダーランド 2013

2013.3.23(土) - 5.12(日)

愛知県児童総合センター (愛・地球博記念公園内)

開館時間 = 9:00-17:00 休館日 = 4/8、15、22、5/7

入場料 = 中学生以下無料、その他300円

主催 = 愛知県児童総合センター (公益財団法人愛知公園協会)

愛知県児童総合センター



〒480-1342
愛知県長久手市茨ヶ岡乙1533-1
TEL 0561-63-1110
<http://www.acc-aichi.org/>

開館時間 = 9:00-17:00
入場料 = 中学生以下無料、その他300円

3月の休館日 = 4、11日
4月の休館日 = 8、15、22日
5月の休館日 = 7、13、20、27日

公共交通機関で…

地下鉄東山線「藤が丘」、愛知環状鉄道「八草」から
リニモ「愛・地球博記念公園駅」下車

車で…

東名高速・日進JCT経由名古屋瀬戸道路長久手ICから
足助方面すぐ (愛・地球博記念公園 北駐車場利用)

春季特別企画

ネイチャーワンダーランド
2013

移動児童館 ゆめたま号
もじ・モジ・ファクトリー
子育てのおはなし 第11話

ACCのココがすき!
募集のお知らせ

子どもとおとな、ドキドキ発見!

ACC

Aichi Children's Center

レター

News Letter vol. 11

2013 春



移動児童館 ゆめたま号



移動児童館「ゆめたま号」は、愛知県児童総合センターのあそびのプログラムとスタッフを地域の児童館などに運び、現地のスタッフとともに地域の子どもと大人と一緒に遊ぶプログラムです。

「ゆめたま号」のあそびのプログラムは大きく分けて2種類。「おやこであそぶプログラム」は未就園児の親子を対象とし、〈大人が楽しいと子どもはうれしい〉をテーマに、たくさんのお母さんと一緒に遊べます。4・5歳児から小・中学生、大人までを対象にした「みんなであそぶプログラム」は見る、聞く、つくる、身体を動かすなど、全身の感覚を使って遊びます。どちらのプログラムも、身のまわりのものやことを「あそび」とおしていつもとは少し違った視点から見つめることで、子どもにとっても大人にとっても新しい気づきが生れます。

移動児童館とは…

県内市町村の児童館等に「ゆめたま号(移動児童館車両)」が向かい、愛知県児童総合センターで開発したあそびのプログラムを紹介・実施し、児童館等職員の資質向上をはかると同時に、センターと児童館等のネットワークを活性化することで、地域の児童健全育成活動を支援することを目的としています。

ゆめたま号がやってきて…



ボン・バ・ボン、ドット・モット

みんなであそぶプログラム | チーム対抗で遊ぶプログラムです。

蟹江町：学戸児童館

いつもとは違う発想のあそびで参考になりました。低学年を高学年や中学生がうまくりードして、職員もいっしょになって楽しむことができました。



おみくじら

みんなであそぶプログラム | 20種類以上のあそび、どれになるかはくじ次第!

蒲郡市：がまごおり児童館

一つ一つのあそびはわかりやすく、同じあそびになっても楽しそうにしています。スタッフにとってもこんなあそびがあるんだ、発展させていきたいなと思いました。



ウゴイテ!あそび

おやこであそぶプログラム | 身近にあるものを使って体を思いっきり動かします。

一宮市：西成児童館

えのぐであそぶ | おやこであそぶプログラム | 汚れることは気にせず、手も足も絵の具だらけにしてあそびます。



子どもも大人もそれぞれのペースで絵の具の感触を楽しめました。体についた絵の具を落とすこともあそびにできそうです。

弥富市：弥生児童館

“大人パワー”をきっかけに大人も一生懸命遊んだのが印象的でした。後日、児童館の幼児プログラムで新聞紙のあそびをとり入れることができました。家庭でもできるような内容で参考になった保護者もいると思います。



うごく!土のまち

みんなであそぶプログラム | たくさん粘土で大きなまちをつくれます。

全身を使って大量の粘土に触れ、初めての子同士なまを伝えていく過程でつながる様子があり嬉しかったです。

春日井市：春日井交通児童遊園



あそびの環境

みんながデザインした「あいいうえおの本」や「ことばのつみき」、ACCC(あいち子どもクリエイティブクラブ)でつくった「もじのポスター」など、文字で遊ぶ環境を設定しました。



もじ・もじ・リサイクル工場

不要になったチラシなどを次のあそびにリサイクルします。



もじむし

文字のカタチをした不思議なきものをつくれます。



もじ・コレ

館内にいる人から名前をあつめて、文字をくみあわせてモノの名前をつくれます。



もじパン

みんなで作ったパンの文字をつなげて「もじをたべて」しまいます。

moji・moji・factory

もじ・もじ・ファクトリー

点・面・線のカタチシリーズの一つとして、センターでは初めてのテーマとなった「文字」をとりあげた「もじ・もじ・ファクトリー」では、普段はあまり気にとめることの少ない「文字のカタチのもの」に注目したプログラムと環境設定を中心に、新しいあそびにチャレンジしました。



フォントさがし

130種類以上のフォントにかくれている4つのフォントを探していきます。フォント作成：FONT1000



あそび実験工房

文字をテーマにした実験的なあそびを試しました。「木でおおきな木をつくる」「もじのきもち」「もじもじオブジェ」「もじかげ」



はながもじ

さまざまな素材をつかって文字の版をつくれます。



よめない文字

自分も誰も読むことができない文字をつくれます。ブルーノ・ムナーリ(未知の国の読めない文字)より

PICK UP 味噌 伸太郎さんと FONT1000



オリジナルの書体「味噌フォント」などで著名なタイポグラフィ(書体デザイナー)である味噌伸太郎さんと、味噌さんを中心としたデザイナーのグループ「FONT1000」の協力で、文字に関連した特別プログラムや展示を行ないました。



1月5日実施「かきぞめ」。味噌さんが考えた6つのパターンをくみあわせてお正月らしい「ことば」をつくり、チャレンジタワーの中にかざりました。同じ文字でもくみあわせかたがそれぞれ違うことで、異なる印象を持った文字がうまれました。



FONT1000からは「たくまき日本の庶民と書体展」の作品をお借りし、館内に展示しました。新しくつくられたフォントを目にして、文字のカタチの魅力に気づいてもらうことができたでしょうか。

子育てのおはなし

臨床心理士 後藤かをり

第11話

子育ては親育て

「子育ては親育て」という言葉があります。子育てをしていく間に、小さい弱いものをいとおしく思う気持ちや、自分の思い通りにならないものを忍耐強く待つことなどを知らず知らずに学んでいくことができることだと思います。

もちろん、いやいや期と言われる2歳児や、生気なことを言うようになったもう少し大きい子どもたちと日々格闘しているお母さんがこんな風に思えるのは、もう少し後か、ゆったりと寝顔を見ているときや自分の時間を持てることでしょうか。

先日、3歳になった子どもがちっともいうことを聞かないので、「もう、あっちに行って」と払いのけてしまったというお母さんと会いました。その方は、言ったときに「ああ、私も自分の母親に無視されてとつても辛かった」と

を思い出し、「なのに、一緒にしている」とドキッとしたことでした。

子育てというのは自分の全部をかけて子どもと接することですから、ふとしたことで、自分が育ってきた辛いことが浮かび上がることがよくあります。今まで気づかなかったことや、ふたがしてあったことを明るみに出すこともあります。

そうしたことに向き合わせてもらえることも、自分を成熟した大人に育てていってくれる「親育て」の意味かもしれません。ほんの少しづつ少しずつ辛いことも自分のものにしていけたら、より豊かな人になれるでしょう。でも、もし向き合ひのが辛すぎることに出会ってしまったら、信頼できる人にぜひ話してくださいね。

こうして育っていきける機会を与えてもらった幸せは、甘いことばかりでないのですね。

ACCのココがすき!

「体験の床」で遊んでいる親子にききました。



とことこのへやのすべり台が大好きです! 相原樹くん、芽久己さん(千種区)



体験の床の黄色いすべり台をすべるのが好き! 榎橋成琉くん、真紀子さん(千種区)



体験の床! 吉福美波ちゃん 黄色い空中回廊がすきです。吉福美希子さん(豊明市)



天気に関係なく(風も気にせず)遊べるところ、室内なのに元気に体を使ったあそびができるところ。青木ひでみさん

募集とお知らせ

「家族のうれしい顔」写真展

セルフタイマーを使って家族みんなを写した家族の絆を感じる写真を展示します。ぜひ350組のうれしい顔に会いに来てください。

日程：3月9日(土)・10日(日) 会場：アピタ安城南店(安城市桜井町) 日程：3月16日(土)・17日(日) 会場：ヒルズウォーク徳重ガーデンズ(名古屋市緑区)

協力：ユニー株式会社

※次のゴールデンウィークにも特別プログラム・セルフタイマーで撮る「家族のうれしい顔」写真募集を実施予定です。詳細はホームページ等でご確認ください。

移動児童館・ゆめたま号

愛知県児童総合センターのあそびとスタッフを「ゆめたま号」に乗せて県内の児童館などへ運び、現地のスタッフとともに地域の子どもと大人と一緒に遊ぶプログラムです。あそびをとおしてたくさんのお母さんと会い、新しい気づきを楽しみにしています。平成25年度の案内と募集は県内市町村の児童福祉担当課を通じて4月頃お知らせする予定です。

※詳しくはセンターHPをご覧ください。

【問合せ】

愛知県児童総合センター tel 0561-63-1110 http://www.acc-aichi.org/

※プログラムは予告なく変更することがありますので、詳しくはHPをご確認ください。